◇東邦ガスがエコ・クッキング教室◇
邦ガスは3月11日午後7時から、ホワイトデーにせてエコ・クッキング教室を名古屋市千種区の今スビルで開く。参加費は無料で、ペア14組28人をまで募集。楽しくディナーを作りながら、地球温暖化やエコ・クッキングについて考える。申し込みは、ホームページ（http://www.tohogas.co.jp/）から。
メニューは、春キャベツと生ハムのパスタ、イタリアンオムレツ、イチゴのジュレ。各テーブルに、ワイン1本が出される。

名古屋経済

Nagoya Business

東日本防滑振興会
都庁の滑り測定受注
転倒事故防止へPR
三重県からも調査依頼

東日本防滑振興会（本部＝名古屋市中村区名駅3の23の16・タキビル1階、清水雅雄理事長、電話052・551・0882）は、東京都から都庁の滑り測定調査を受注した。タイルなどの床材が滑りやすいかどうかを、専用の測定値で調査するもの。同会では三重県からも同様の調査依頼を受けており「これを機に転倒事故防止の、防滑施工の必要性をアピールしていきたい」としている。（今井康紀）

JR上野駅前の歩道で行った滑り測定調査

同会は愛知、東京の防滑施工業者が中心となって設立した協同組合。昨年11月に国土交通省の認可を受け正式に発足した。現在12社が加盟している。

日本では多くの施設で床に対する防滑意識が低く、多くの転倒事故が発生している。同会ではこうした状況のなか、防滑施工による転倒事故の防止と業界の社会的認知度向上をめざしている。国内では東京や三重などが先進的な条例を制定しており、特に東京では滑りにくさを具体的に示す「滑り抵抗値」を一定に維持することを遵守義務としている。

こうした背景から、同会はこのほど東京都から滑り測定調査の受注を受けた。案件は都庁（第一庁舎、第二庁舎、議事堂）の床面。数値で床面の状況を報告し、今後の防滑施工への受注につなげていく。「先進的な取り組みを行う三重県では県の各施設で調査（同会）としている。

実績をあげている。地元の愛知県や岐阜県でも行って行きたい」

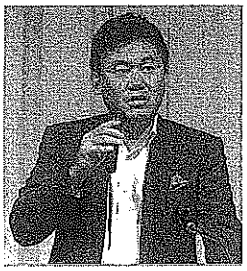
今後は各県1社以上の加盟社を募り、防滑施工の輪を広げていく。活動の詳細は同会へ。

楽天トラベル
ホテルトラスティ名古屋栄など
年間評価で表彰

楽天トラベル（本社東京都）は3日、名古屋市中区のホテルグランコート名古屋で、「楽天トラベル新春カンファレンス2011」を開催した。同社の三木谷浩史会長らによる講演と、「楽天トラベルアワード2010」の表彰を行った。約350人が参加した。

講演を行った三木谷会長は2011年のトレンドについて、スマートフォンの普及、ソーシャルネットワークの拡大などを挙げ「実経済がインターネットに近づく年になるだろう」と述べた。

また旅行市場については、中国やインドを中心としたアジアの市場が爆発的に拡大するとして、「楽天トラベルとしても、アジアからの集客に力を入れていきたい」と話した。


講演を行う三木谷会長

「楽天トラベルアワード」の表彰式では、中部地区の宿泊施設の中で、10年の1年間の楽天トラベルにおける宿泊実績や評価の高かった施設を表彰。ホテルトラスティ名古屋栄（名古屋市中区）、メルパルク名古屋（名古屋市東区）など12施設が受賞した。

アルペン
高山紗矢香さん
販売部・教育グループ

「プラス志向がモットー」と前向きに取り組む高山さん

「スポーツデポ」「ゴルフ5」など全国300店以上のスポーツ用品店を展開するアルペン（名古屋市）。入社3

旧正月は「ギョーザの日」
新しい福よ来い!!

隆祥房
包み方やクイズ競う
ZIP-FM空木さん考案　料理無料配布も

ギョーザや春巻きの皮を製造する隆祥房（本社名古屋市熱田区沢上1の3の37、西村彰高社長、電話052・682・0050）は3日、名古屋市中区のアスナル金山で、ギョーザの日イベント「福福餃子パーティー」を開催した。

中国では、ギョーザは縁起の良い食べ物とされ、旧正月に家族でギョーザを食べる習慣がある。これに習い、日本でも旧正月に当たる日を「ギョーザの日」と制定。今年は2月3日が旧正月に当たる。

冒頭、西村社長やオリジナルキャラクター「ツツムくん」がステージに登場。ギョーザが好きなことで知られるZIP-FMのナビゲーターの空木マイカさんを「ギョーザプリンセス」として表彰し、ティアラなどを贈呈した。

表彰式の後は、空木さん考案のスープギョーザを来場者に無料配布。ギョーザの包み方を競う「アイデア包みコンテスト」やクイズ大会、金山保育園の園児による「ぎょうざソングス」に合わせたダンスなども行われた。

空木さん考案のスープギョーザをふるまった

豆まきをする市川団十郎さん

市川団十郎さん
中村梅玉さん
御園座で豆まき

節分の日の3日、御園座（名古屋市中区）で、5日から始まる「二月大歌舞伎」に出演する市川団十郎さんや中村梅玉さんらが「節分豆撒き」を行った。

壇上には団十郎さんと梅玉さんのほか、市川左団次さん、中村福助さんら13人の出演者と長谷川栄胤御園座社長が並んだ。始めに長谷川社長が「二月公演では素晴らしい演目を並べることができた。歌舞伎の底力、素晴らしさを見ていただきたい」とあいさつ。続いて、団十郎さんが「昨年はいろいろありましたが、豆まきをして難を遠ざけ、そして新しい福を呼び込みたい」と話すと、詰め掛けたファンから大きな拍手がまき起こった。

この後、壇上の俳優が、豆の入った大入り袋50個を「福は内」と声を掛けながらまくと、ファンは歓声をあげながら必死に手を伸ばしていた。

東海支部設立で記念シンポジウム
日本メディエーター協
医療メディエーター（医療対話仲介者）の普及

東海支部設立記念シンポジウムなどに取り組む、日本メディエーター協会は13日、名古屋市昭和区妙見町2の名古屋第二赤十字病院で同協会東海支部の設立記念シンポジウムを開催する。

医療メディエーターは医療の苦情や事故時の初期対応、日常診療の際にメディエーションモデルを援用して患者と医療者の橋渡しをする役目を持っている。院内での対話促進、関係再構築を支援するため08年3月に協会が設立。今回、東海地区での普及を目的に支部

日本M&Aセンター
譲渡の手法理解へ
16日にセミナー

日本M&Aセンターは16日、名古屋市中村区名駅1の名古屋マリオットアソシアホテル・タワーズボールルームで創業20周年記念「経営者のためのM&Aセミナー」を開催する。

中小企業によるM&Aを主眼に置いたセミナー。中小企業では社長が年齢面で引退の時期に差し掛かっても、子どもが継ぎたがらないケースも増えている。また継いだとしても倒産させることがあれば「継がす不幸」を背負わすこととなる。

そうしたケースではM&Aによる経営権の譲渡が検討されることとなる。セミナーではその手法を理解し中小企業の存続と発展につなげてもらう。講師は、同社の分林保弘会長と、三宅卓社長。また譲渡企業の社長も体験談を語る。

参加費は無料。対象は中小企業経営者。問い合わせは、同セミナー事務局（共同PR、電話03・3571・5159）まで。

【会社プロフィル】本社は名古屋市中区丸の内2の9の40。72年にスキー用品の販売会社として設立。06年3月に東証一部、名証一部上場。10年12月末の店舗数は363店舗。正社員数（10年6月末）